

視察報告

文教福祉委員会 日程 5月19日(水)～21日(金)

①群馬県安中市 安中ふるさと人物辞典について

安中市は、^{※9}新島襄をはじめ多くの著名人を輩出しており、それらの人物の偉業について知る方法はありますが、市民や子供が手軽に読めるものがなかったため、郷土を愛する心を養う意味でも、小冊子の刊行に着手したとのことです。

【所見】

郷土の歴史人物群を解りやすく検証するという意味合いは大きなものがあると感じました。佐賀市としても、副読本的なものは今後検討していく必要があるのではないかと感じました。

②神奈川県川崎市 小中連携について

はるひ野小中学校の特徴としては、小中学校の9年間で4-3-2の節に分け、小中学校の先生が一致してきめ細やかな教育指導を行っていることにあります。先生は全て小中学校の兼務辞令が出ており、専門性の高い授業が展開されています。

【所見】

小中連携は、9年間を通じて、子どもの育ちを確認でき、これまで以上にできることの可能性が大きく広がると感じました。既存校で行うには小中学校の立地の問題など難しい点もありますが、できる部分から積極的に取り組んでいくことが肝要と思います。

③東京都品川区 旧校舎を活用した施設について (ヘルスケアタウンにしおおい)

旧小学校の建物については、大正時代の開校ということで卒業生も多く、地元にとって身近であり、取り壊しをせず再活用の方途を検討し、福祉施設としての活用を見出したとのことでした。また、旧小学校のグラウンド、体育館、特別教室は、地域交流や防災施設の観点から、地域で管理し、運営されているとのことでした。

【所見】

佐賀市の場合、各支所の施設、建物については、空き部屋の利活用などを推進していく必要があり、老人福祉施設や子育て施設などへの一部転用という観点も考えられます。議会としても更に施設の有効利用について議論を深めていく必要があると感じました。



ヘルスケアタウンにしおおい
(旧原小学校)

※9 新島襄：同志社大学の前身となる同志社英学校の創立者（事実上、同志社大学の創設者）。福澤諭吉らとならび、明治六大教育家の1人に数えられている。

佐賀市議会11月定例会のお知らせ 11月30日(火) 午前10時開会(予定)

※日程等については、定例会開会前に議会運営委員会で協議され、定例会開会日に正式決定されます。決定次第、市のホームページでお知らせいたします。

編集後記

阿久根市長の専決処分連発と議会招集拒否、名古屋市長が主導する市議会リコール署名運動、首長と議会の戦いが続いています。この問題は、二元代表制の一翼を担う市長及び議会のあるべき姿・役割が厳しく問われていると認識しなければなりません。

その点で、私たちは、佐賀市議会基本条例で謳っている基本原則、市民との関係、議会広報の充実等々について再度確認するとともに、その実現に向けての取り組みを強化していかなくてはならないと思います。

ほとんどの人が議会だよりで市議会の情報を得ておられ、七割の方が読みやすいと回答されています。さらに分かりやすい紙面づくりや改善を望む声が多く寄せられている実態の中で、より多くの市民の方が議会と市政に関心を持ってもらうようにするため、議会広報をどのようにしたらよいか、改めて身につまされている昨今であります。(松永憲明)